



## フロンティア（先駆者）

校長 池田 浩二

長い夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。今年の夏はリオで開かれたオリンピックでの日本選手団の活躍に一喜一憂し、記憶に残る夏を過ごさせてもらいました。

スポーツには、その国での認知度の高いメジャースポーツと、そうでないマイナースポーツと呼ばれるものがあります。今回のオリンピックでも、カヌーや陸上の競歩などメダルを取ったことで、一躍脚光を浴びたスポーツもありました。今回二中では、32年ぶりにオリンピック出場を決めた水球日本代表チーム（ポセイドンジャパン）キャプテンの志水祐介選手をお招きし、オリンピック講演会を開くことになっていましたので、個人的にも学校としてもポセイドンジャパンと志水選手を応援していました。

水球も日本ではマイナースポーツのひとつかもしれませんが、私たちは日ごろ水球の試合を見る機会がほとんどありません。今回志水選手をお招きしていたこともあり、早朝のテレビ中継で声援を送りましたが、ほとんど初めての観戦となりました。試合の中では、「タイスイ」や、「エーキュータイスイ」など聞きなれない言葉が飛び交います。後になって、ファウルをすると一定時間退水ゾーンに入っている「退水」が課され、それが3回続くと「永久退水」となり、試合に出場できなくなるということを知りました。なじみのなかった水球ですが、選手たちの必死な戦いぶりには引き込まれてしまいました。32年ぶりに挑む五輪の初戦では、世界選手権3位のギリシャと対戦し最後の最後に逆転され7-8で敗れ、大金星をあと一步で逃してしまいました。とても熱い一戦でした。

9月12日に行ったオリンピック講演会でも、「夢を持つこと」「自分を信じ、自分を好きになること」など、多くの熱いメッセージをいただきました。また、オリンピック終了直後は、引退も考えられていたようですが、3日前に決めたという現役として2020年の東京オリンピックを目指すという決意を生徒たちに披露していただき、多くの拍手が沸き起こりました。



志水祐介選手

## ✿ 3年生修学旅行 ✿

9月4日（日）～6日（火）にかけて奈良・京都に修学旅行へ行きました。1日目は平等院鳳凰堂、法隆寺、興福寺国宝館を回り、2日目は東大寺で大仏を見学したのち、班行動で奈良、京都を事前に計画したルートで巡りました。

3日目はジャンボタクシーで京都市内を見学しました。当初は台風の影響も懸念されましたが、2日目に小雨にあった程度でとても快適な旅ができました。この修学旅行を通じて目的である京都・奈良の史跡、文化財に触れ、豊かな心を養うことと、集団行動を通して協調性、自主性、責任感を養うことができました。これを今後の学校生活に活かしていきたいと思います。



## ✿ 第2回オープンキャンパス ✿

9月13日（火）に第2回オープンキャンパスが行われました。今回は部活動体験を通して、二中の良さや部活動の様子を知ってもらうという目的でした。小学生は、希望した2つの部活動を30分ずつ体験しました。みんな笑顔で楽しみながら練習に参加していました。短い時間ではありましたが、中学校の部活動について知ることができたと思います。

二中の生徒は、優しく小学生をサポートし、リードしながら体験を進めていました。この体験を通して、「中学校へ入学するのが楽しみになった。」とほとんどの小学生が言っていたことはとてもうれしいことです。



## ❀ 2年生職場体験学習 ❀

夏休みが始まってすぐの7月21日（木）から23日（土）の3日間を中心に、各事業所で職場体験を行いました。今まで様々なゲストティーチャーをお迎えし、事前訪問をしながら準備をしてきました。地域の方々が学校の取り組みにご理解あつての体験であり、今までの先輩方が熱心に取り組んだ結果、事業所の方々が引き受けてくださったことを感じながら、生徒たちは貴重な体験をしました。体験後は、「job job」というまとめの冊子を作っていきます。

### 【生徒の感想、まとめより】

・ある患者さんに子供の頃の話がたくさん聞かせてもらったことが印象に残っています。また、困っている人がいたら自分から進んで助けたり、誰にでも気をつけて行動できるようにしたいです。（病院での体験）

・お客様の見えないところで努力していることがとても多いことがわかりました。この職場体験後、何事にも

あきらめずに努力するようになりました。（菓子販売店での体験）

・仕事に対する考えが、「とても大変で、責任を持たなくてはいけないもの」という考えに変わりました。（スーパーマーケットでの体験）

・働くということは、ただその仕事をこなすだけではなく、人との関わりがとても重要なのだということがわかりました。（楽器販売店での体験）



## ❀ 地域班下校訓練 ❀

9月1日（木）に地域班下校訓練を行いました。大地震がいつ起きてもおかしくないと言われている今日において、非常に重要な訓練の一つになります。大きな災害に見舞われた際、その場で大きな力を発揮している中学生の話聞いたこともあると思います。中学生には大人に負けないくらい大きな力があります。「守られる側から守る側へ」。こうなっていくためにも、今回の訓練を忘れず、いざという時は、まず自分たちの命を守れるようにしていきましょう。



## ❀鍋横まつりボランティア❀

8月6日（土）と7日（日）の二日間で鍋横祭りが開催され、本校からも何人かの生徒がボランティアとしてお店のお手伝いをしました。今年は「スーパーボールすくい」です。生徒たちは、PTAの方々と協力しながらお店の準備や客引き、お店の切り盛りに励んでいました。慣れない仕事に生徒たちは四苦八苦し



ていました。校内とは違った様々な年齢層の方と接することで、地域社会の中で生きる社会性を生徒たちには身に付けてほしいと思っています。協力して下さったPTAの方々、本当にありがとうございました。



## ❀特別支援教育の取り組み❀

～「できること・得意なこと」を褒めよう～

発達に課題のある子ども達は、周囲から「困った行動をする」と見られがちですが、実は「本人が困って、起こす行動」なのです。周囲の人よりも、一番困っているのは本人自身です。自分ではどうして良いかわからず、「困った行動」をとってしまいます。そして、叱られ続けていると、「どうせ、私なんか」「私には、できない、無理だ」と自信をなくし、自己肯定感が低くなってしまいます。

日々の生活のなかでは、つつい「できないこと」に目がいてしまいます。しかし、「得意なこと、できることを伸ばしてあげる」ことは、とても大切なことです。子どもは、努力したことやできるようになったことを褒められると、「もっと頑張りたい」「もっとやりたい」と意欲が増してきます。

どんな小さなことでも、親や先生からの「褒め言葉」は、子どもの自己肯定感につながり、最高のエネルギー源にもなります。